

平成30年6月6日招集

第12回鏡石町議会定例会

町長説明要旨

本日ここに、第12回鏡石町議会定例会の開会にあたり、町政運営に当たっての所信の一端を申し述べるとともに、提出いたしました議案の概要についてご説明申し上げます。

はじめに、この度の任期満了によります町長選挙におきまして、多くの町民の皆様のご支援をいただき当選をさせていただきました。

今後4年間、町政を担うという責任の重さを感じ、身の引き締まる思いであります。選挙中町民の皆様から寄せられた期待に応えるべく、強い信念と情熱をもって、公約に掲げた政策の実現に全力を尽くす所存であります。

どうか議員各位をはじめ、町民の皆様には、今後の町政運営に対しまして、なお一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に、韓国と北朝鮮首脳による会談が、4月27日軍事境界線のある板門店で開催され、「完全な非核化により、核のない朝鮮半島の実現という共通の目標を確認した」とする「板門店宣言」が署名されました。昨年8月と9月にJアラートによるミサイル発射の警報が流れてから8ヶ月が経過し、すぐには信じがたいところではありますが、今後ミサイルの脅威と大きな課題である「拉致問題」の一刻も早い解決を望むものであり、南北朝鮮の後ろ盾となっている米国や中国、ロシアなどを含めた平和的な解決が図られることを切に願うところであります。

福島県産農産物の魅力を伝えるCMに無償で出演するなど、福島を熱心に応援してくれた人気アイドルグループ「TOKIO」のメンバーが、強制わいせつ容疑で書類送検されるという驚きの事件がありました。TOKIOは、平成12年から始まった浪江町での「DASH村」を縁に、震災後は福島県のPRに起用されてきました。内堀知事は、定例記者会見で引き続き力を貸していただきたいと話され、県産モモの収穫・出荷が始まる7月中旬をめどにCMやポスターなどを制作すると発表がありました。メンバーによる福島復興への思いが、継続起用に

つながったものであり、今後も福島県農産物の風評払拭に大きな役割を担っていただきたいと思います。

夢の大リーグに挑戦しているエンゼルスの大谷翔平選手が4月のアメリカン・リーグ最優秀新人に選出されました。この賞は、月間で最も活躍した新人の中から、投手・打者の区別なく1人だけに授与されるもので、もちろん投手・打者の「合わせ技」による受賞は初めてとなりました。大リーグのレギュラーとして試合に出ることだけでも大変なことであり、二刀流で活躍していることは、同じ日本人としてうれしい快挙であり、4月だけではなく1年を通した活躍を大いに期待したいと思います。

平成29年度全国新酒鑑評会で、本県の蔵元が出品した19銘柄が金賞を獲得し、都道府県別金賞受賞数で6年連続8度目の日本一に輝きました。広島県と並び、これまで最多の5年連続の記録を塗り替え、この度全国初の6連覇を成し遂げました。本町の鏡の雫を醸造していただいている天栄村の松崎酒造店も7年連続の金賞を受賞し、今後もおいしい鏡の雫を提供していただけるものと思っております。

5月の月例経済報告によりますと、4月と同様「景気は緩やかに回復している。」として、輸出の持ち直しや企業収益の改善などを背景に、個人消費の持ち直しや設備投資の緩やかな改善が見られ、雇用・所得環境が改善していると発表がありました。しかしながら、中東を初めとする原油の動向や世界的な保護主義の高まりによる影響については、今後も留意する必要があるとされ、雇用環境の改善が下支えする個人消費が力強く改善していくためには、実質可処分所得の増加がカギとなり、中央のみならず地方へも経済効果があらわれ、早期に景気回復が実感できるよう願うものであります。

次に3月定例議会以降の町における主な出来事について申し上げます。

公園施設長寿命化計画に基づいた鏡石町民プールの大規模改修工事が完了し、3月21日に「すいすい」がリニューアルオープンしました。快適な環境の中、多くの皆様が来場しており、今後も多くの皆さまに親しまれ、ご利用いただけるよう、施設の管理運営に努めて参ります。

4月11日には、町と地域との太いパイプ役として重要な役割を担っていただいております行政区長さん、新任7名を含めた13名の方々に委嘱状を交付いたしました。社会福祉協議会協力推進員も併せて委嘱され、区長協議会役員の新体制も選出されました。

昨年度から整備を進めておりました鏡石まちの駅「かんかんてらす」については、先月16日にグランドオープンすることができました。本施設は、賑わいの創出と、町の農産物や特産品の販売、6次化商品の開発や創業支援、そして、観光情報の発信拠点として整備したものであります。管理運営については、鏡石町観光協会に委託し、町と観光協会が連携しながら、町の中心にある本施設を有効に活用し、賑わいあふれる施設として、町民の皆様に親しまれるように努めて参ります。

第29回高齢者ふれあいスポーツ祭が、6月4日に鳥見山陸上競技場で開催されました。町内行政区の老人クラブ11チーム、271人の皆様が参加され、地域の皆さんが力を合わせてはつらつとした姿で競技されていることに大変心強く感じたところであります。

次に、今年度の主要事業の執行状況についてご報告いたします。

はじめに、原子力災害対策事業につきましては、除染土壌の中間貯蔵施設への搬出業務がすべて完了し、現在は、第一小学校校庭にある埋設土の搬出作業を夏休み期間中の完了に向けて準備を進めているところであります。

放射能汚染に伴う自家消費野菜等の食品放射能簡易測定については、引き続き

調査を行い、町民の安全・安心な日常の食生活の確保に努めております。

公立岩瀬病院が購入した移動式ホールボディカウンタ車両を利用した放射線内部被爆検査を、今年度も5月28日から6月12日までの日程で各幼稚園・保育所において検査を実施しております。なお、これまで異常が検出されたケースはありません。

道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業につきましては、今年度、鏡石4区・仁井田区・鏡田区・高久田区の一部を前期、さかい区・旭町区・笠石区の一部を後期として振り分け発注する予定としており、現在は前期分の発注に向け準備を進めております。

次に、進化する鏡石実行プロジェクト事業についてであります。駅に降りてみたくなる事業として、7年目となる「田んぼアート事業」については、昨年度に引き続き約70aの水田に、アニメーターの湖川友謙氏デザインの「うさぎとかめ」をテーマに、岩瀬農業高校や関係者のご協力のもと準備が進められ、6月2日に町内外から多くの方の参加者を得て田植え祭りを実施したところであります。今年度の田んぼアートでは、8月中旬頃、稲の成長に伴い隠れデザインが現れる仕掛けが予定されており、一般観覧・稲刈り体験イベント、また稲刈り後の「きらきらアート」と、長い期間に渡って町内外の方々にご観覧頂きたいと考えております。さらに、先月オープンした鏡石まちの駅「かんかんてらす」と連携した事業を展開しながら地域振興につなげて参りたいと思っております。

通りを歩いてみたくなる事業として取り組んでいる「花いっぱい運動」につきましては、6月10日の日曜日に一斉定植を予定しておりますので、町民の皆様のご協力を今年も引き続きお願いしたいと思います。

次に第5次総合計画で定める5つの行政分野別目標の進捗について申し上げます。

ます。

一つめの「町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります」として、住民税特別徴収一斉指定事業につきましては、特別徴収義務のある事業所の協力を得て5月に納付書を発付したところであります。今回の指定では1,915事業所に対して住民税の納税通知書を送付し、前年比56の事業所が新たに特別徴収事業所となり、毎年増加しているところであります。この一斉指定により、納税者は6月の給料から毎月住民税が天引きされることになり、納税の利便が図られ、収納率がさらに向上するものと期待しております。

収納率向上対策事業につきましては収納グループを中心に全庁をあげての収納体制を強化したところであり、収納率は4月末現在で、対前年比0.41%増となり、特に国民健康保険税においては、平成29年度分において1.98%増と高い伸びを示しております。住民サービスの提供の責務を果たすため安定的な歳入の確保は極めて重要であり、さらには納税者間の公平性を確保するため収納の強化に努めて参りたいと考えております。

固定資産税につきましては、今年度は3年に1度の評価替えの年度となっており、先月には今年度の固定資産税の納付書を送付させていただきました。今年度からまた3年後に行う評価替えに向けまして、各種の評価替えに係る調査事業の事務を進めて参ります。

次に、なりすまし詐欺や悪質商法など私たちの消費生活を巡るトラブルが大きな社会問題となっていることを受け、天栄村との広域事業として平成27年度から取り組んでおります消費生活相談事業につきましては、消費契約等の各種相談が寄せられ、県消費生活相談センターとの連携協力の下、契約のキャンセルや被害の未然防止に実績を挙げているところであり、今後とも相談者の問題解決を図って参りたいと思います。

二つめの「心豊かで人を育て、地域文化を大切に作る鏡石をつくります」として、学校教育の充実を図るために配置した指導主事は2年目を迎え、各学校の教育課程、学習指導、学校教育に関する専門的な事項について、教職員への積極的な指導助言等が行われています。

5年目となる「スクールソーシャルワーカー設置事業」につきましては、各学校を活動の場として、生徒と保護者、さらに先生方を対象に相談や助言活動にあたっており、指導主事、学校教育相談員とともにきめ細かな対応をしているところであります。

語学指導等外国青年招致事業については、平成29年8月に着任したサンドラ先生が7月に帰国することから、新任の招致事務を進めており、アメリカ出身の女性を予定しております。

新事業としての中学生各種検定補助事業につきましては、学習意欲を高め学力向上につなげることを目的として、昨年度まで実施していた「英語体験学習事業」に代えて、各種検定受験料の一部補助を行うものであり、現在実施に向けた準備を進め、ねらいどおりの成果につながることを期待しております。

今年度、幼稚園の施設整備の維持管理を目的に計画している園舎屋根改修工事については、現在設計業務の委託準備を進めており、設計が完了次第工事の発注を進めて参ります。

生涯学習機会の拡大とスポーツ振興につきましては、町体育協会の総会が3月末に、生涯学習文化協会の総会が4月26日に開催され、今年度の事業がスタートいたしました。その手始めとして、今月3日には、県民スポーツ岩瀬郡大会が開催されました。また、9日と10日には初夏の文化祭のメインであります展示部門が開催されます。このほか、外郭団体であります町婦人会をはじめ、子ども会育成会連絡協議会、NPO法人かがみいしスポーツクラブなどの総会も終了しておりますので、これから本格的な事業が展開されるものと期待しているところ

であります。

次に、町民の健康づくりにつきましては、がん検診や総合検診及び人間ドックなどの各種検診事業実施へ向けた事務作業を進めているところであり、先月17日と31日には、集団検診として女性検診を実施したところです。

また、今年度の新規事業として、子育て支援推進の観点から、「ロタウイルス」と「おたふくかぜ」の任意予防接種費用の一部助成を行い、胃腸炎や重症化の予防を図って参ります。

高齢者食生活改善事業では、名称を「ハッピーイートプログラム事業」から「生き生き幸せ食生活応援団事業」と変更し、管理栄養士や保健師による、高齢者訪問や栄養教室、さらには幼稚園・保育所での食育教室にも取り組んで参ります。

三つめの「地域で支え合う、人にやさしい鏡石をつくります」における、高齢者福祉の充実として、在宅高齢者福祉事業では、昨年度策定した第8期高齢者保健福祉計画並びに第7期介護保険事業計画に基づき、高齢者をはじめ、すべての町民が安心して暮らし、健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、健康の維持・増進や介護予防施策に取り組むとともに、介護が必要になっても、状態を維持改善するための方策と合わせて、在宅で自立した生活を続けることができるよう、介護保険サービスの推進に努めて参ります。

児童福祉の充実として、子ども・子育て支援事業計画に基づき「つどいの広場」「放課後児童クラブ」「保育所の運営支援」「認定こども園運営支援」など総合的な子育て支援策の推進に努めて参ります。

また、今年度4月から社会福祉法人鏡石町社会福祉協議会に移管した公私連携型保育所「鏡石保育所」は順調に運営され、引き続き保育サービスの質の向上と安定運営に向けて支援して参ります。

認定こども園整備事業における「認定こども園ぶどうの木」の園舎増改築につ

いては、国県の交付金が決定し、2カ年目の事業が順調に進められています。

障がい者福祉の充実においては、昨年度策定した鏡石町障がい者計画・鏡石町障がい福祉計画並びに鏡石町障がい児福祉計画に基づき、町民、地域、事業所、行政の協働により、障がいのある人の社会参画を進め、障がいのある人も、ない人も、すべての人の人権が大切にされ、誰もが生きがいのある生活を送ることができる町を目指して参ります。

国民健康保険事業につきましては、今年度から事業主体が市町村から都道府県に変更となり、初年度として必要な事務作業を進めております。

なお、今年度の国保税額の算定につきましては、前年分の確定申告による所得額と給付額が確定したことに伴い、新たに税額を試算したところであり、今年度分の国保税については、税率及び応益の税額を若干減額することとして、先月国保運営協議会において原案のとおり答申をいただいたところであります。

四つめの「新しい産業を開花させ、活力あふれる鏡石をつくります」としての、「水田フル活用推進事業」については、今年産から生産調整の配分がなくなり、米の直接支払が廃止されるなど、大きな変革の年を向かえました。その中において、経営所得安定対策の営農計画書の受付けを3月から4月にかけて実施し、161名から営農計画書の提出がありました。対象となる水田面積は約495haで、全水田面積の約48%が経営所得安定対策の対象となっております。昨年と比べ、12名、93haの減となっており、米の直接支払が廃止されたことが原因であると考えられますので、引き続き、米価の安定と農業所得の安定に向けて、水田フル活用ビジョンに基づく各種取り組みの推進を図って参ります。

農業の振興として進めている「農地再生プロジェクト事業」については、昨年度策定した「かがみいし油田計画」を基に、昨年播種した「なたね」については、先月まで、黄色い花で彩られておりました。今後は、エゴマの植栽、さらに「な

たね」の刈り取りと搾油を行い、耕作放棄地発生防止と、農地と景観の維持に努めて参ります。

観光の振興と、町の木「しだれ桜」の推進として、4月21日に第5回目となる「“牧場の朝のまち”桜ウォーク」をイオンスーパーセンター鏡石店の協賛をいただき実施いたしました。今年は例年より10日も早い桜の開花となり、当日は残念ながら桜の花は散ってしまっていました。天候にも恵まれ、イオンスーパーセンター鏡石店を発着とした8kmコースと5.7kmコースの2つのコースに、町内外から昨年を上回る115名の参加者が沿道の風景を楽しみながら交流を深めることができました。

また、第15回となる「あやめ祭り」については、今月23・24日の2日間、鳥見山公園を会場に開催の準備を進めているところであります。本年は、新企画として「おはよう あやめ健康ウォーキング」と大人気企画あやめスタンプラリーの実施を予定しており、さらに、6月末までのあやめシーズンとして、鳥見山公園内のライトアップ等を行い、町花あやめを内外にアピールして参ります。

五つめの「快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくりまします」として、鏡石駅東第1土地区画整理事業につきましては、宅地造成工事が完了し、今月から、15,048㎡の住宅地について使用収益を開始いたしました。また、第3工区につきましては、測量設計業務などの発注に向けた事務を進めております。

幹線道路網の整備事業では、社会資本整備総合交付金の内示がありましたので、今定例会において、内示額にあわせた補正予算を計上いたしましたので、ご審議の上、議決賜りますようお願い申し上げます。

次に、水環境の基盤整備である水道事業は、平成29年度末で給水人口11,937人、普及率94.8%となっています。

平成22年度より開始された上水道第5次拡張事業は、新浄水場の建設工事実施設計業務委託が完了し、全体像が見えてきたところであり、今年度はこの実施設計に基づいた積算業務の委託発注を進めて参ります。

また、拡張事業に係る導水管、配水管の布設工事についても発注準備を進めており、特にJR東北本線の線路下に配水管を布設する推進工事につきましては、安全性の確保のため関係機関と協議を重ね進めて参ります。

次に下水道整備の平成29年度末における汚水処理人口の普及率は92.9%まで達し、水洗化率は90.9%となりました。

公共下水道については、社会資本総合整備交付金事業を活用した下水道施設長寿命化対策を計画しており、今年度予定している施設の更新について発注準備を進めております。

次に、今定例会に提出いたしました議案の概要について申し上げます。

報告第36号及び報告第37号の専決処分した事件の承認につきましては、税条例並びに国保税条例の一部改正で、報告第38号から報告第45号までの専決処分した事件の承認につきましては、一般会計並びに7つの特別会計の年度末事業確定に伴う補正予算であります。

報告第46号から報告第48号までは、一般会計及び特別会計における繰越明許費の報告であります。

諮問第4号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては、現委員高島民子氏が9月30日の任期満了に伴い退任されることから、新委員の推薦について意見を求めるものであり、議案第212号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについては、現委員の斉藤栄治氏が6月末で任期満了となることから、再任について同意を求めるものであります。

議案第213号 鏡石町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に

つきましては、国民健康保険税の本算定に伴う算定額の改正、議案第214号鏡石町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定につきましては、児童福祉法の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件について所要の改正を行うもの。

議案第215号 損害賠償等請求に係る反訴の提起については、本年1月に赤沼不動産から訴えのあった損害賠償請求訴訟に対して、反訴を提起するものであります。

議案第216号 平成30年度鏡石町一般会計補正予算(第1号)につきましては、社会資本整備総合交付金の内示に伴う道路、公園及び駅東土地区画整理事業の財源組み替えによる補正や元気キッズサポーター派遣事業補助金の内示による補正予算であります。

議案第217号 平成30年度鏡石駅東第1区画整理事業特別会計補正予算(第1号)につきましても、社会資本整備総合交付金の内示に伴う財源組み替えによる補正予算であります。

以上、今定例会にあたりまして、町政運営と、提出いたしました議案の概要についてご説明申し上げます。何とぞよろしくご審議いただき議決、承認、同意を賜りますようお願い申し上げます。